

## 2006 ITU ワールドカップ石垣島大会レース速報

### 庭田清美、田山寛豪ともに7位に入る

#### 優勝は女子デビー・ターナー、男子カートニー・アトキンソン

4月16日(日)、沖縄県石垣市の登野城漁港特設コースで、日本のトライアスロンシーズンの開幕を告げる2006NTTトライアスロンジャパンカップ・ITUワールドカップ石垣島大会が開催された。

午後1時スタートの女子は、スイムから庭田清美(アシックス・ザバス)が積極的に前に出て、バイク終了時には6位まで追いつけた。ランではめまぐるしく順位が変わるなか、庭田はよく頑張り、7位に入賞した。優勝したのは、ワールドカップ初優勝となるデビー・ターナー(ニュージーランド)だった。ターナーは、「これまでの最高位が4位だった。ハードなレースとなったが、優勝できて幸せだ」と語った。

午後3時45分にスタートした男子は、田山寛豪(チームテイケイ)がスイムをトップでフィニッシュし、バイクへ移った。バイクでは、20名の大集団ができあがったが、4周目には細田雄一(Weider・speedo)が抜け出した。そのままランに移るかと思われたが、最終周に集団が追いつき、混戦のままランに勝負は持ち越された。

ランでは、田山が期待通りの走りを見せたが、力及ばずに7位にとどまった。優勝は、厳しいデッドヒートを制したカートニー・アトキンソン(オーストラリア)。石垣島大会は3度目の勝利とあって、「この島は僕にとってラッキー。今年のいい弾みになった」と、手放しの喜びようだった。

レースの様子はフォトギャラリーでご覧になれます。



優勝のターナー(左上)、アトキンソン(右上)にメダル獲得の6名

#### 手応えを感じたレースだったと庭田



「ランスタートまでは理想的。スイムはいい位置で上がったし、バイクではよく仕事をして周りをひっぱった」と、庭田清美(アシックス・ザバス)は振り返ったが、「実は、バイクに入る前に左のふくらはぎが痛くて、ちょっと苦しかった」とも。「今日は自分でリミットをつくらずにいこう」と思っていたと言うとおり、ランでは苦しくてあきらめかけたこともあったそうだが、「前の選手について、追い越して一つひとつ順位を上げて」と前を追っていたようだ。「直前のムールラバ大会では、不完全燃焼だったが、ここ石垣島大会でやるだけのことはやった」と庭田。しかし、最後は「頭が真っ白になって、ちょっとコースミスをしました。それが悔しい」と、ちょっと不満な様子。また、中西が庭田をリードしたことについては、「びっくりしました」と、驚くと同時にうれしそうだった。さらに、「一緒にトレーニングした田中敬子(NTT東日本・NTT西日本・スカイタワー58)も走りが変わったでしょう」と、庭田が指導したことを語った。



## 2006 ITU ワールドカップ石垣島大会レース速報

### 庭田清美、田山寛豪ともに7位に入る

#### 女子トップ3／日本選手成績

| 順位 | 氏名         | タイム     | 所属                    |
|----|------------|---------|-----------------------|
| 1  | デビー・ターナー   | 1:58:34 | ニュージーランド              |
| 2  | ミッシェル・ディロン | 1:58:36 | イギリス                  |
| 3  | サマンサ・ワリナー  | 1:58:50 | ニュージーランド              |
| 7  | 庭田 清美      | 1:59:53 | アシックス・ザバス             |
| 9  | 中西真知子      | 2:00:26 | NTT東日本・NTT西日本         |
| 12 | 忽那 静香      | 2:02:17 | 日東紅茶・TEAM KEN'S・A&A   |
| 13 | 田中 敬子      | 2:02:30 | NTT東日本・NTT西日本・スカイワ-58 |
| 18 | 上田 藍       | 2:03:35 | グリーンタワー・稲毛インター        |
| 19 | 関根 明子      | 2:04:38 | NTT東日本・NTT西日本         |
| 20 | 古谷あかね      | 2:04:49 | トヨタ車体                 |
| 21 | 大松沙央里      | 2:05:42 | トヨタ車体                 |
| 22 | 高木 美里      | 2:06:06 | 湘南ベルマーレスポーツクラブ        |
| 27 | 高橋 梨香      | 2:12:11 | トヨタ車体                 |

#### 男子トップ3／日本選手成績

| 順位  | 氏名           | タイム     | 所属                   |
|-----|--------------|---------|----------------------|
| 1   | カートニー・アトキンソン | 1:48:03 | オーストラリア              |
| 2   | ハンター・ケンパー    | 1:48:04 | アメリカ                 |
| 3   | アンディ・ポッツ     | 1:48:11 | アメリカ                 |
| 7   | 田山 寛豪        | 1:49:36 | チームテイケイ              |
| 11  | 山本 良介        | 1:50:25 | トヨタ車体                |
| 17  | 西内 洋行        | 1:51:52 | 西京味噌                 |
| 18  | 細田 雄一        | 1:51:56 | Weider・speedo        |
| 22  | 平野 司         | 1:52:44 | NTT東日本・NTT西日本・Weider |
| 25  | 高濱 邦晃        | 1:53:41 | 日本食研実業団トライアスロン部      |
| 29  | 杉本 宏樹        | 1:54:22 | チームテイケイ練習生           |
| 36  | 山本 淳一        | 2:00:04 | K's・Y・グリーンタワー・稲毛インター |
| 37  | 犬童 太一        | 2:02:25 | 東京ヴェルディ              |
| DNF | 佐藤 治伸        | —       | 日本食研実業団トライアスロン部      |

#### とても悔しいと田山



「残念でした」と、開口一番悔しそうな表情をしたのは、田山寛豪(チームテイケイ)。「北京でメダルを取ると宣言した以上、この石垣島では表彰台に上りたかった」と、自分の発言に対して責任をもつコメントを残した。スイムはトップで上がって、バイクでも積極的に前に出た。途中で細田が集団から一人で逃げた時にも「ここは出るべきではない」と、冷静な判断で集団にとどまった。それは、「このレースの流れは、バイクで逃げても勝てない」ということだったのだろう。ランでは、思い切りよく前を追ったが、7位となった。最後にマーク・フレッタ(アメリカ)をリードしながら、フィニッシュ直前で抜かれたことも相当ショックだったようで、「何よりも残念」と、レース運びに不満を残した。田山は、男子の若手のなかでも一番世界に近いと目されている選手。その田山が本気で悔しがることに、これから先のレースでの活躍が予測できる。

#### 2006の最初で走りがつかめた。今年はこのまま行きたい



アテネ・オリンピックに出場したが、不本意な成績に終わった中西真知子(NTT東日本・NTT西日本)は、当時から陸上コーチの金哲彦氏に師事していた。昨年はまだ未完成だったが、「今年の初めに走りがつかめたんです。体重も落ちてきたし、ランで勝負できるようになりました。やっと金コーチの指導の成果が出てうれしい」と、9位の成績にも、大きな手応えを感じた様子。実際レースでも、一時は庭田の前に出るなど積極的な走りを展開した。「庭田選手の前に出たのは、ちょっとオーバースピードでした」と、苦笑いの中西だが、「今後に期待してください」と自信ありげ。次のレースはマドリッドだそうだ。

